

みずほマーケット・トピック(2017年6月23日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は上値が重い展開。週初 19 日のシドニー時間にドル/円は週安値となる 110.80 円をつけたが、日経平均株価の堅調推移を受けて 111 円台前半まで上昇。さらに、ダドリーNY 連銀総裁のタカ派発言や米株の上昇を受けて 111 円台後半まで値を上げた。20 日も前日のドル買いの流れが続き、ドル/円は一時週高値となる 111.79 円をつけたが上値を追う展開とはならなかった。その後、ムニューシン米財務長官が「強いドルには不利な面もある」と発言したことが材料視され、111 円台前半まで売り戻される展開となった。21 日は、前日比マイナスで寄り付いた日経平均株価が下げ幅を拡大すると、ドル/円は 111 円台前半までじりじりと値を下げた。その後、イングランド銀行(中央銀行、BOE)のハルデーソン理事が金融政策の正常化について早期着手が必要と発言すると英金利が急上昇し、米金利もつれて上昇する展開にドル/円は 111 円台後半まで買い戻された。しかし、原油価格の続落や米株の軟調推移を背景に米金利が低下すると、111 円台前半まで反落した。22 日は日経平均株価がじり安となる中でドル/円は 111 円割れまで下げたが、その水準では相応に買い意欲もあり直ぐに 111 円台を回復。欧州株が堅調に推移するとドル/円は 111 円台前半まで上昇したが、ブラード・セントルイス連銀総裁のハト派な発言を受けて米金利が低下する展開に上値重く推移した。本日のドル/円は、111 円台前半で動意が乏しい展開となっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は軟調な展開となった。週初 19 日に 1.12 近辺でオープンしたユーロ/ドルは、欧州時間に一時週高値となる 1.1215 をつけるも、ダドリーNY 連銀総裁のタカ派発言などを背景に 1.11 台前半まで急落。20 日には、BOE のカーニー総裁によるハト派発言を受け、ユーロ/ポンドが買われる動きに連れユーロ/ドルは 1.11 台後半まで買い戻されたが、その後は利益確定と見られるユーロ/円の売りに押されて週安値となる 1.1119 まで下落した。21 日は BOE のハルデーソン理事によるタカ派発言を受けて英金利が上昇し、米金利も上昇する展開にユーロ/ドルは上値重く推移。しかしながら、英ポンドの上昇が一巡すると、ユーロ/ポンドのショートカバーと見られるフローを背景にユーロ/ドルは 1.11 台後半まで値を上げた。22 日は目新しい材料がない中で 1.11 台前半まで小緩み、本日のユーロ/ドルは 1.11 台半ばで小動きとなっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		6/16(Fri)	6/19(Mon)	6/20(Tue)	6/21(Wed)	6/22(Thu)
ドル/円	東京9:00	111.00	110.98	111.70	111.34	111.34
	High	111.42	111.60	111.79	111.74	111.45
	Low	110.65	110.80	111.32	111.07	110.95
	NY 17:00	110.85	111.52	111.45	111.40	111.32
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1149	1.1204	1.1144	1.1137	1.1167
	High	1.1202	1.1215	1.1165	1.1169	1.1178
	Low	1.1139	1.1143	1.1119	1.1128	1.1140
	NY 17:00	1.1198	1.1149	1.1135	1.1168	1.1152
ユーロ/円	東京9:00	123.74	124.35	124.52	124.01	124.33
	High	124.45	124.50	124.64	124.46	124.43
	Low	123.57	124.15	123.93	123.67	123.85
	NY 17:00	124.12	124.34	124.09	124.39	124.14
日経平均株価		19,943.26	20,067.75	20,230.41	20,138.79	20,110.51
TOPIX		1,596.04	1,606.07	1,617.25	1,611.56	1,610.38
NYダウ工業株30種平均		21,384.28	21,528.99	21,467.14	21,410.03	21,397.29
NASDAQ		6,151.76	6,239.01	6,188.03	6,233.95	6,236.69
日本10年債		0.06%	0.06%	0.06%	0.06%	0.06%
米国10年債		2.15%	2.19%	2.16%	2.16%	2.15%
原油価格(WTI)		44.97	44.43	43.51	42.53	42.74
金(NY)		1,253.65	1,243.39	1,242.99	1,246.55	1,250.45

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、来週にかけて FOMC 投票メンバーの講演が相次いで予定されている。今晚にパウエル FRB 理事、25 日(日)にダドリー NY 連銀総裁、27 日(火)にハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、そしてカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が講演する。経済指標では、今晚に発表される 5 月新築住宅販売は、前月比+3.7%の年率+59.0 万件と増加しそうだ。関連統計は、住宅ローン申請件数は月次平均でみると 3 か月連続で増加しているほか、5 月 NAHB 住宅市場指数も前月から上昇し、高水準を維持している。週明け 26 日(月)には米 5 月耐久財受注の発表があり、前月比 ▲0.7%と 4 月の同 ▲0.8%に続き 2 か月連続の減少となる見込みである。もっとも、これは航空機受注の減少によって押し下げられたとみられ、変動の大きい輸送機器を除く受注は同+0.4%と 4 月の同 ▲0.5%から増加に転じる見通しである。このほか、27 日(火)に発表される 6 月のコンファレンス・ボード消費者信頼感指数は 115.0(5 月:117.9)と、6 月ミシガン大学消費者マインド(速報値)と同様に低下するとみられる。また、30 日(金)に発表される 6 月ミシガン大学消費者マインド(確報値)は速報値(94.5)と同水準になると予測されている。
- ・本邦では、30 日(金)に 5 月鉱工業生産(速報値)が発表される。5 月の製造工業生産予測調査は、同 ▲2.5%と減産が見込まれているが、実績値は予測指数から下振れる傾向がある。経済産業省による予測指数がもつ傾向的な部分を補正した試算値は同 ▲3.5%となっており、予測指数を上回る減産となる見通しである。このほかの生産に関連する統計を確認すると、5 月の実質輸出は同+1.9%と 3 か月ぶりの増加に転じており、5 月の鉱工業生産指数を前月比 ▲3.2%と予想されている。また、同日に 5 月全国消費者物価指数(CPI)、6 月東京都区部 CPI の発表も予定されている。5 月全国コア CPI(生鮮食品を除く総合)は前年比 +0.5%と 4 月の同+0.4%からプラス幅が拡大すると見込まれている。既に公表されている 5 月東京都区部コア CPI は同+0.2%と 4 月の同 ▲0.1%から 4 か月ぶりのプラスに転じており、全国も概ねこれに沿った動きとなりそうだ。6 月東京都区部コア CPI は、改正酒税法が施行されたことに伴う酒類の値上げを反映し、同 +0.2%と 5 月の同+0.1%から加速するとみられる。このほか、29 日(木)に 5 月商業販売統計、30 日(金)には 5 月労働力調査、5 月家計調査、5 月新設住宅着工が相次いで発表される。金融政策関連では、26 日(月)に金融政策決定会合における主な意見(6 月 15～16 日開催分)が公表されるほか、29 日(木)には原田審議委員の講演が予定されている。

	本 邦	海 外
6 月 23 日(金)	――	・米 5 月新築住宅販売 ・ユーロ圏 6 月製造業/サービス PMI(速報)
26 日(月)	・日銀金融政策決定会合における主な意見 (6 月 15～16 日開催分) ・5 月企業向けサービス価格	・米 5 月耐久財受注(速報) ・独 6 月 Ifo 企業景況指数
27 日(火)	――	・米 4 月 S&P/コアロジックケースシラー住宅価格 ・米 6 月消費者信頼感指数
28 日(水)	――	・米 5 月卸売在庫(速報)
29 日(木)	・5 月商業販売統計	・米 4～6 月 GDP(3 次速報)
30 日(金)	・5 月労働力調査 ・5 月家計調査 ・5 月消費者物価指数 ・5 月鉱工業生産(速報) ・5 月新設住宅着工	・米 5 月個人消費・所得 ・米 5 月 PCE デフレーター ・米 6 月シカゴ購買部協会景気指数 ・米 6 月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・ユーロ圏 6 月消費者物価(速報)

【当面の主要行事日程(2017 年 6 月～)】

米 FOMC(7 月 25～26 日、9 月 19～20 日、10 月 31 日～11 月 1 日)
 ECB 政策理事会(7 月 20 日、9 月 7 日、10 月 26 日)
 日銀金融政策決定会合(7 月 19～20 日、9 月 20～21 日、10 月 30～31 日)
 G20 首脳会議(7 月 7～8 日)、ドイツ総選挙(9 月 24 日)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2017年6月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 法人企業統計(1～3月期) 日本 自動車販売台数(5月) 米国 ADP雇用統計(5月) 米国 労働生産性(確報、1～3月期) 米国 ISM製造業景気指数(5月) 米国 建設支出(4月)	2 日本 マネタリーベース(5月) 米国 雇用統計(5月) 米国 貿易収支(4月)	
5 米国 製造業新規受注(4月) 米国 耐久財受注(確報、4月)	6 日本 毎月勤労統計(4月) 米国 労働市場情勢指数(5月)	7 日本 景気動向指数(速報、4月) 米国 消費者信用残高(4月) ユーロ圏 GDP(確報、1～3月期) ドイツ 製造業受注(4月)	8 日本 GDP(1～3月期、確報) 日本 国際収支(4月) 日本 貸出・預金動向(5月) 日本 景気ウォッチャー調査(5月) 日本 *企業倒産件数(5月) ユーロ圏 ECB理事会(タリン) ドイツ 鉱工業生産(4月)	9 日本 マネースtock(5月) 日本 第三次産業活動指数(4月) 米国 卸売在庫(確報、4月) 米国 卸売売上高(4月) ドイツ 貿易収支(4月)	
12 日本 国内企業物価(5月) 日本 機械受注(4月) 米国 財政収支(5月)	13 日本 法人企業景気予測調査(4～6月期) 米国 FOMC(～14日) 米国 生産者物価(5月) ドイツ ZEW景況指数(6月)	14 日本 鉱工業生産(確報、4月) 米国 消費者物価(5月) 米国 小売売上高(5月) 米国 企業在庫(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(4月)	15 日本 日銀金融政策決定会合(～16日) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(6月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(6月) 米国 鉱工業生産(5月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、4月) ユーロ圏 財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 貿易収支(4月)	16 米国 住宅着工(5月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、6月) ユーロ圏 EU経済・財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 消費者物価(確報、5月)	
19 日本 貿易収支(5月)	20 米国 経常収支(1～3月期) ユーロ圏 経常収支(4月)	21 日本 金融政策決定会合議事要旨(4月26～27日開催分) 米国 中古住宅販売(5月)	22 米国 景気先行指数(5月)	23 米国 新築住宅販売(5月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(6月)	
26 日本 日銀金融政策決定会合による主な意見(6月15～16日開催分) 日本 企業向けサービス価格(5月) 日本 景気動向指数(確報、4月) 米国 耐久財受注(速報、5月) ドイツ IFO企業景況指数(6月)	27 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格(4月) 米国 消費者信頼感指数(6月)	28 米国 卸売在庫(速報、5月)	29 日本 商業販売統計(5月) 米国 GDP(3次速報、1～3月期)	30 日本 労働力調査(5月) 日本 家計調査(5月) 日本 全国消費者物価(5月) 日本 東京都都区消費者物価(6月) 日本 鉱工業生産(速報、5月) 日本 新設住宅着工(5月) 米国 個人消費・所得(5月) 米国 PCEコアデフレーター(5月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、6月) ユーロ圏 消費者物価(速報、6月)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2017年7月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 日銀短観(6月調査) 日本 自動車販売台数(6月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、6月) ユーロ圏 失業率(5月) 米国 ISM製造業景気指数(6月) 米国 建設支出(5月)	4 日本 マネタリーベース(6月)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、6月) 米国 製造業新規受注(5月) 米国 耐久財受注(確報、5月) 米国 FOMC議事要旨 (6月13～14日開催分)	6 ドイツ 製造業受注(5月) ユーロ圏 ECB理事会議事要旨 (6月8日開催分) 米国 ADP雇用統計(6月) 米国 貿易収支(5月) 米国 ISM非製造業景気指数(6月)	7 日本 毎月勤労統計(5月) 日本 景気動向指数(速報、5月) ドイツ 鉱工業生産(5月) 米国 雇用統計(6月) 米国 失業率(6月) ハンブルク(ドイツ) G20首脳会議(～8日)	
10 日本 機械受注(5月) 日本 国際収支(5月) 日本 貸出・預金動向(6月) 日本 景気ウォッチャー調査(6月) ドイツ 貿易収支(5月) 米国 労働市場情勢指数(6月) 米国 消費者信用残高(5月)	11 日本 マネースtock(6月) 米国 卸売売上高(5月)	12 日本 国内企業物価(6月) 日本 第三次産業活動指数(5月) ユーロ圏 鉱工業生産(5月) 米国 ペーシェブック	13 ドイツ 消費者物価(確報、6月) 米国 生産者物価(6月) 米国 財政収支(6月)	14 日本 鉱工業生産(確報、5月) ユーロ圏 貿易収支(5月) 米国 消費者物価(6月) 米国 小売売上高(6月) 米国 鉱工業生産(6月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、7月) 米国 企業在庫(5月)	
17 日本 海の日 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(7月)	18 ユーロ圏 消費者物価(確報、6月) ドイツ ZEW景況指数(7月) 米国 TICレポート(対外対内証券投資、5月)	19 日本 金融政策決定会合(～20日) 米国 住宅着工(6月)	20 日本 貿易収支(6月) ユーロ圏 経常収支(5月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(7月) 米国 景気先行指数(6月)	21	
24 日本 景気動向指数(確報、5月) ユーロ圏 製造業PMI(速報、7月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、7月) 米国 中古住宅販売(6月)	25 日本 金融政策決定会合議事要旨 (6月15～16日開催分) ドイツ IFO企業景況指数(7月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格 (5月) 米国 消費者信頼感指数(7月) 米国 FOMC(～26日)	26 日本 企業向けサービス価格(6月) 米国 新築住宅販売(6月)	27 米国 耐久財受注(速報、6月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月)	28 日本 日銀金融政策決定会合による主な意見 (7月19～20日開催分) 日本 家計調査(6月) 日本 全国消費者物価(6月) 日本 東京都都区消費者物価(7月) ドイツ 消費者物価(速報、7月) 米国 雇用コスト(4～6月期) 米国 GDP(1次速報、4～6月期) 米国 個人消費(1次速報、4～6月期) 米国 PCEコアデフレーター(1次速報、4～6月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、7月)	
31 日本 鉱工業生産(速報、6月) 日本 新設住宅着工(6月) ユーロ圏 失業率(6月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、7月)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2017年6月22日	対内・対外証券投資の近況～リセットされたトラブトレード～
2017年6月21日	カシュカリ・エッセイから学ぶこと～信仰(faith)とデータ(data)～
2017年6月19日	日銀金融政策決定会合～「座して円高を待つ」状況へ～
2017年6月16日	週末版
2017年6月15日	FOMCを終えて～「笛吹けど踊らず」の状況強まる～
2017年6月14日	ユーロ相場の本格反転に必要なもの
2017年6月13日	盛り上がらない米国のインフレ期待や与信環境について
2017年6月12日	ECB政策理事会～「露払い」としてのFG文言修正～
2017年6月9日	週末版(英総選挙を受けて～「不要なギャンブル」の成れの果て～)
2017年6月8日	英下院総選挙について～直前の論点整理～
2017年6月7日	110円割れで思うこと～変わり始めた欧米の論調～
2017年6月5日	日銀総資産500兆円突破を受けて～杞憂の出口議論～
2017年6月2日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～出口戦略の順序に変更なし～)
2017年6月1日	2016年末対外資産・負債残高統計～リスク回避の源泉～
2017年5月29日	メインシナリオのリスク点検～目立つ円高リスク～
2017年5月26日	週末版(本邦4月消費者物価指数(CPI)を受けて～依然、埋まらない日米物価格差～)
2017年5月25日	FOMC議事要旨を受けて～株価は耐えられるのか?～
2017年5月24日	相次いで弱体化するFRB高官～動揺する唯一の支え～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年4月分)
2017年5月23日	メルケル首相発言を受けて～異形のドイツがすべきこと～
2017年5月22日	ドル相場の現状認識～4月分REERの公表を受けて～
2017年5月19日	週末版
2017年5月17日	ドルインデックスの急落を受けて
2017年5月16日	ユーロ相場の現状について～投機買い持ちでも上がらず～
2017年5月15日	イタリアG7を終えて～「量」が「価格」か「説得」か～
2017年5月12日	週末版(欧州委員会春季経済予測を受けて～今後心配な「スラックの格差」～)
2017年5月11日	円相場の基礎的需給環境～様変わりする景色～
2017年5月10日	米インフレ期待低迷が映す米経済への過信
2017年5月9日	米商務省声明が予感させる「理不尽な円高」
2017年5月8日	フランス大統領選挙を受けて～おさらいすべきフランスの現状～
2017年4月28日	週末版(ECB理事会を終えて～「次の一手」は引き締めが濃厚～)
2017年4月27日	ECB理事会プレビュー②～フォワードガイダンス撤廃報道について～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月分)
2017年4月25日	メインシナリオのリスク点検～燃る「第二次ブラザ合意」疑惑～
2017年4月24日	フランス大統領選挙第1回投票～終わらない政治リスク～
2017年4月21日	週末版(ECB理事会プレビュー～争点はフォワードガイダンスの取り扱い～)
2017年4月20日	米金利低下と円高相場～投資家は「外」から「内」へ～
2017年4月19日	英総選挙の前倒し実施～「絶対に負けられない戦い」へ～
2017年4月17日	米為替政策報告書の読み方
2017年4月14日	週末版(依然として懸念されるユーロ圏の域内格差～顕著になる「地力の差」～)
2017年4月13日	改めて考えるポリシーミックスの在り方
2017年4月12日	試される「リスク回避の円買い」の妥当性
2017年4月11日	円相場の基礎的需給環境～ベネシスワップと対外証券投資～
2017年4月7日	週末版(ECB理事会議事要旨～鍵を握るAPPの延長可否～)
2017年4月6日	FOMC議事要旨を受けて～「B/S縮小=ドル高」とは限らず～
2017年4月5日	真つ当な米利上げ反対論～ブレインードからカシュカリへ～
2017年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(2016年12月末時点)
2017年4月3日	2つの大統領令を受けて～内政の苛立ちを外交で発散へ～
2017年3月31日	週末版
2017年3月30日	ユーロ圏の物価に関する現状と展望～ECBへの影響～
2017年3月29日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年2月分)
2017年3月28日	メインシナリオのリスク点検～要警戒の4月中旬～
2017年3月24日	週末版(英EU離脱の正式通告について～当面の展望や為替見通し～)
2017年3月22日	ドル/円相場の水準感について～112円割れを受けて～
2017年3月21日	バーデンバーデンG20を受けて～前哨戦は米国に軍配～
2017年3月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～再確認したい現行枠組みの脆弱性～)
2017年3月16日	FOMCを受けて～さほどハト派にあらず?～
2017年3月15日	米インフレ期待低迷から何を読むか～FOMCを前に～
2017年3月14日	円相場の基礎的需給環境～窮屈になる対外証券投資の環境～
2017年3月13日	ECB理事会を受けて～対米配慮と対独配慮に苦悶～
2017年3月10日	週末版
2017年3月3日	週末版
2017年3月2日	本邦輸出企業の採算レートやそこから推測される展開
2017年3月1日	ECB理事会プレビュー～進むも地獄、戻るも地獄～
2017年2月27日	ECB、公的部門購入プログラム(PSPP)の現状と展望
2017年2月24日	週末版(メインシナリオのリスク点検～問題の所在は全く変わらず～)
2017年2月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年1月分)
2017年2月21日	ユーロ圏投資ファンド統計～ユーロ安の底流にあるもの～
2017年2月20日	ECB理事会議事要旨～窮屈になる追加緩和の環境～
2017年2月17日	週末版(米12月対内・対外証券投資(TICレポート)～対米資本フローに表れる不信心～)
2017年2月15日	イエレンFRB議長議会証言を受けて～正常化を止めるのはドル高か～
2017年2月14日	ドル高を信用できない金融市場の現状～需給への影響も～
2017年2月13日	日米首脳会談を終えて～円高警戒は解けず～
2017年2月10日	週末版(再燃する対ドイツ格差問題～新しい欧州経済・金融のテーマ～)
2017年2月9日	円相場の基礎的需給環境～2016年国際収支を受けて～
2017年2月3日	週末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由～「返り血」が少ない喧嘩相手?～)
2017年2月1日	日銀金融政策決定会合～トランプとFTPLの狭間で～
2017年1月30日	メインシナリオのリスク点検～不幸を生むドル高は続かず～
2017年1月27日	週末版
2017年1月26日	日銀による国債買い入れオペレーション～為替からの読み方～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分)
2017年1月25日	貿易収支の調整経路～「理不尽な円高」は不可避か～
2017年1月23日	ECB理事会を終えて～窮屈になる緩和環境～
2017年1月20日	週末版
2017年1月19日	改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況～ECBは慢心せず～
2017年1月18日	メイ英首相演説を受けて～反EUの「悪い見本」になるのか?～
2017年1月17日	目の敵にされる4つの通貨～対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸?～
2017年1月16日	ECB理事会プレビュー～「可能な限り、現状維持」が本音～
2017年1月13日	週末版(円相場における実需と投機の現状について～対外証券投資にまつわる懸念事項も～)
2017年1月12日	トランプ次期大統領会見について～トランプはトランプのまま～
2017年1月11日	「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較